



防災通信

目黒区薬剤師会

常日頃より防災を意識していただくため、
その時々情報と共に、
目黒区薬剤師会防災対策委員会より不定期
で発信しています

JULY, 2025

VOL.4

運用開始！！ 災害時情報共有システム eST-aid

目黒区薬剤師会会員薬局の皆さまへ
エストエイドへの登録
お急ぎください

\エストエイドで出来ること/

eST-aid（エストエイド）は、江戸川区薬剤師会とエスト社が共同開発した
「薬剤師が考えた防災ツール」です。

災害時

安否確認



営業状況と被災確認



災害時において、職員の安否確認と薬局の営業状況・被害情報は、最も重要な情報となります。エストエイドではスマートフォンで簡単に安否確認メールが送信できます。また事務職員も含め、自局の全従事者の安否も確認できる機能も備えています。



会員薬局が更新した営業可否情報はウェブ上の専用地図にてリアルタイムに一般市民に情報提供が可能になります。



救護所活動のサポート機能。災害時には、迅速かつ効果的な対応が求められます。救護所への派遣依頼や医薬品の在庫状況などの情報共有をサポートできます。

平常時



会員へのお知らせ

今までFAXにてお知らせしていた薬剤師会からの情報や伝達事項は、エストエイドでのお知らせを徐々に利用する予定です。



小分け・不動在庫

地域支援体制加算に対応！会員薬局間で医薬品の情報共有を行い、薬剤師会として地域の医薬品提供体制強化を目指します。



登録の方法や分からないことは、エスト社に直接問い合わせができます。

6月13日より公開されている映画「フロントライン」では、豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」での実話を基に、未知のウイルスに最前線で立ち向かったDMATの活動が描かれてます。

知っておきたい防災用語

DMAT（ディーマット）

大規模災害や多数傷病者発生の可能性のある大事故の現場で医療行為を行う、医師や看護師、事務職員で編成される災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team）で、頭文字を略してDMAT（ディーマット）と呼び、平成16年に全国に先駆けて東京で“東京DMAT”（令和7年現在は27指定病院、約1000名の隊員）が発足しました。また、平成17年には厚生労働省が“日本DMAT”を発足しています。

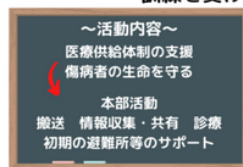
「もう少し前に、より災害現場に近いところまで出て医療を行えるようにしよう」というのがDMATの特徴です。「医師や看護師が院外に出ていけば、助かる命もあるのではないかと考え、現場での医療の不在を埋めるために作られました。

日本DMAT と 都道府県DMAT の違い

	日本DMAT	都道府県DMAT
管轄	厚生労働省	都道府県
	被災都道府県から派遣要請 → 厚生労働省の要請で出動	都道府県知事の要請で出動
活動範囲	全国の災害 大規模災害	地域内の災害 局所災害

災害派遣医療チーム（DMAT）

新興感染症蔓延時や
発災直後から48時間以内に活動する
訓練を受けた医療チーム



1チーム4～5名

